

核セキュリティを目的とした核燃料物質の計量管理に係る検討状況説明会

1. 期 日

令和5年7月7日（金）10:00～12:00

2. 場 所

原子力規制委員会（東京都港区六本木1丁目9-9六本木ファーストビル13階）
会議室BCD

3. 参加者

（1）規制庁

古金谷緊急事態対策監、中村安全規制管理官（核セキュリティ担当）、他

（2）事業者

別紙のとおり

4. 次第等

（1）次 第

番号	時 間	項 目	資料番号
1	10:00	開 会	—
2	10:00～10:05	古金谷緊急事態対策監挨拶	—
3	10:05～10:15	セキュリティ目的での核物質計量管理方法の導入可能性に係る検討（背景）	資料1 （参考1） （参考2）
4	10:15～10:35	セキュリティ目的での核物質計量管理方法（定義、目的及び考察）	資料2 （参考3） （参考4）
5	10:35～10:50	セキュリティ目的での核物質計量管理方法の導入可能性に係る検討（検討状況）	資料3
6	10:50～11:00	NMAC エキスパートミッションについて（講義内容の紹介）	資料4
7	11:00～11:10	核セキュリティのための計量管理の導入	資料5

		可能性に係る調査（委託調査概要）について	
8	11:10~11:20	核セキュリティを目的とした核燃料物質の計量管理に係る今後の論点	資料6
9	11:20~11:50	意見交換 - 自由討議	なし
10	11:50~11:55	連絡事項	—
11	11:55	閉会	—

(3) 資料配付

事前配布

【添付資料】

別紙：参加者

資料1：セキュリティ目的での核物質計量管理方法の導入可能性に係る検討（背景）

資料2：セキュリティ目的での核物質計量管理方法（定義、目的）

資料3：セキュリティ目的での核物質計量管理方法の導入可能性に係る検討（検討状況）
（非公開）

資料4：NMAC エキスパートミッションについて（講義内容の紹介）（非公開）

資料5：核セキュリティのための計量管理の導入可能性に係る調査（委託調査概要）について（非公開）

資料6：核セキュリティを目的とした核燃料物質の計量管理に係る考察と論点（非公開）

参考1：IAEA 核セキュリティ・シリーズ(NSS)文書（NMAC 関連文書）（非公開）

参考2：国際原子力機関（IAEA）の国際核物質防護諮問サービス（IPPAS）ミッション
報告書及び同フォローアップミッション報告書【抜粋】

参考3：核物質及び原子力施設の物理的防護に関する核セキュリティ勧告
（INFCIRC/225/Rev.5）（NSS No.13）【抜粋】

参考4：施設におけるセキュリティを目的とした使用中の核燃料物質の計量と管理
（NSS No.25-G）【抜粋】

参加者

事業所名	
京都大学複合原子力科学研究所	1名
東京大学原子力専攻	2名
近畿大学 原子力研究所	2名
東芝エネルギーシステムズ(株)	3名
原子燃料工業(株) 東海事業所	2名
原子燃料工業(株) 熊取事業所	1名
核物質管理センター 東海保障措置センター	1名
核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター	1名
三菱原子燃料工業(株)	2名
三菱電機(株) 電子通信システム製作所	1名
日本原燃(株) 濃縮事業部	1名
日本原燃(株) 再処理事業部	2名
MHI 原子力研究開発(株)	1名
(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン	3名
日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	1名
日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	3名
日本原子力研究開発機構 大洗研究所	1名
日本原子力研究開発機構 安全・核セキュリティ統括本部	1名
日本原子力研究開発機構 核不拡散・核セキュリティ総合支援センター	2名